

Go to Next Stage

来年の高校入試要項も決定しました。あとは、目標に向かって前進するのみです。その前に高校選択について確認してください。

外側と内側の進路

外側の進路と内側の進路

進路には、外側の進路と内側の進路があります。高校の特色、合格ラインや点数など数字等で表せることは外側の進路といえます。でも、大切なことは内側の進路です。

内側の進路というのは、例えば、同じ高校に入学したA君とB君という生徒がいます。A君は合格したけれど、あまり気がのらないで、なんとなく高校生活を送っています。

それに対してB君は自分の性格や将来のことを考えると、この高校がとても気に入って充実した高校生活を送っています。

B君は当然、正しい進路を選んだということがいえるでしょう。このように自分の性格や将来の希望と合わせて進路を決めることを、内側の進路といっています。

高校入学後、休学したり、退学したりする生徒の多くが、「この高校は自分に合わない」という理由だそうです。

せっかく、中学校の3年間受験勉強を一生懸命頑張って希望する高校に入学し、その後になって、自分にこの高校が合うか合わないかが分かったのです。それでは遅いのです。

高校の現実

高校に入学した後も、まだ自分の将来の希望を確定できない生徒が三分の一もいるそうです。みなさんの進路希望では、生徒全員が進学希望、そして、6割が普通高校希望で、4割が専門科のある高校を希望していました。みなさんの先輩も同じような希望だったと思います。でも、高校に入って希望がなくなってしまう、「未定」となってしまったのです。

高校の先生には、この「未定」がとても困るそうです。進学希望なら合格できるように特別に講座を開いたりします。就職希望なら、希望する会社をよりよく選択してあげられるように就職相談をします。でも、「未定」ではどうしようもないのです。

なぜ、高校に入ってから「未定」が増えるのでしょうか。それは、高校に入学し、あっちこっちの中学校から進学してきた生徒と一緒に勉強し、大人数の中で学習していくと、自分の本当の実力がだんだん分かってくるからです。そして、これまでの自分の希望が甘かったことを知ります。

つまり、中学校時代の狭い範囲での自分の希望は甘かったのです。

成績だけで高校を評価しない

そこで、安易に普通科→大学(短大・専門学校)とは考えないことです。また、合格点が高い高校が良い、という迷信も捨てることです。有名高校はほんの一部の生徒にとっては良いかもしれませんが、すべての生徒にとって良いとは言えません。

なぜなら、人には個性があるのですから・・・。成績だけで人生を決めては自分がみじめになるだけです。

最近の傾向として、このことがだんだん理解されてきたそうです。成績上位の生徒がその高校の推薦をねらって、職業高校等に入学してくるそうです。そして、その専門科目を優秀な成績で推薦を受け、琉球大学などに進学していく人が出てきています。

そこで、みなさんに考えておいてほしいことは・・・

- ① 本当に大学までいく力と努力と勉強する心を持っているか。
- ② 専門学校というけれど、どんな学校があるのか知っているか
- ③ 専門学校に行くには、普通科からいくのがいいのか、職業高校からいくのがいいのか。
- ④ 高校卒業後はどんな職業につくつもりでいるのか。
- ⑤ 同じ勉強するにしても上位にいた方がやる気ができるのか、それとも下位にいた方がやる気ができるのか。
- ⑥ 高校に入って自分は何を伸ばそうとしているのか。

自分の目で確かめて

このように考えて、自分にとって最も良い高校はどこかを選んでください。そして、その高校について調べてみることです。

- その高校の全体の雰囲気
- その高校の先生方の熱意
- 授業内容など
- 部活動のこと
- その高校の先輩の進路
- 通学方法
(バスの便や交通費など)
- かかる学費など
- 校則のことなど

このようなことを自分の目で確かめておくことです。方法は、その高校の文化祭や学園祭などを見学したり、実際にでかけてみたりします。また、先輩に聞いたり、体験入学や学校説明会に行ったりします。さらに、担任の先生は、資料をたくさん持っているの、見せてもらって調べることも大切です。

とにかく、自分の納得する気持ちで自分の高校を選べたら最高です。そうなれば絶対後悔しない進路選択ができたと言えるのです。



2学期始業式(8月24日)